

[異常時通報連絡の公表文（様式 1-1）]

伊方発電所における作業員の負傷について

28. 3. 10
原子力安全対策推進監
(内線 2352)

[異常の区分]

国への法律に基づく報告対象事象	有 ・ 無	
	[評価レベル -]	
県の公表区分	A ・ B ・ C	
外部への放射能の放出・漏えい	有 ・ 無	
	[漏えい量 -]	
異常の概要	発生日時	28年2月11日15時45分
	発生場所	1号・2号・3号・共用設備
		管理区域内 ・ 管理区域外
種類	・ 設備の故障、異常 ・ 地震、 人身事故 、その他	

[異常の内容]

2月11日(木)16時18分、四国電力(株)から、伊方発電所の異常に係る通報連絡がありました。その概要は、次のとおりです。

- 3号機取水口クレーン付近において、クレーン撤去の作業中の作業員1名が左足を負傷したため、2月11日(木)15時45分、社有車にて病院に搬送することとし、16時00分に出発した。
- 作業員の汚染、被ばくはない。

[その後の状況]

2月12日(金)11時40分、四国電力(株)から、その後の状況について、次のとおり連絡がありました。

- 負傷した状況は、作業員が撤去するクレーンに転倒防止用のワイヤーを張る作業を実施していたところ、コンクリートブロック上面に仮置きした固定用のフックが滑り落ちて左足に接触して負傷したもの。
- 病院で診察した結果、「左下腿打撲」と診断された。
- 当該作業員は、2月12日(金)出社した。

(伊方発電所及び周辺の状況)

[事故発生時の状況]

原子炉の運転状況	1号機	運転中 (出力 %)	停止中
	2号機	運転中 (出力 %)	停止中
	3号機	運転中 (出力 %)	停止中
発電所の排気筒・放水口モニタ値の状況		通常値 ・ 異常値	
周辺環境放射線の状況		通常値 ・ 異常値	

(参考)

1 国への法律に基づく報告対象事象

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき、国（原子力規制委員会原子力規制庁等）に対し、一定レベル以上の事故・故障等を報告することが義務付けられている。

国への法律に基づく報告対象事象に該当すれば、国際原子力機関が定めた評価尺度に基づき、7から評価対象外までの9段階の評価レベルが示されるので、異常の程度を判断する目安となる。評価対象外以下のものについては、安全に関係しない事象とされている。

2 県の公表区分

区分	内 容
A	○安全協定書第11条第2項第1号から第10号までに掲げる事態 （放射能の放出、原子炉の停止、出力抑制を伴う事故・故障、国への報告対象事象 等） ○社会的影響が大きくなるおそれがあると認められる事態 （大きな地震の発生、救急車の出動要請、異常な音の発生 等） ○その他特に重要と認められる事態
B	○管理区域内の設備の異常 ○発電所の運転・管理に関する重要な計器の機能低下、指示値の有意な変化 ○原子炉施設保安規定の運転上の制限が一時的に満足されないとき ○その他重要と認められる事態
C	○区分A，B以外の事項

3 管理区域内・管理区域外

その場所に立ち入る人の被ばく管理等を適切に実施するため、一定レベル（3月間に1.3ミリシーベルト）を超える被ばくの可能性がある区域を法律で管理区域として定めている。原子炉格納容器内や核燃料、使用済燃料の貯蔵場所、放射能を含む一次冷却水の流れている系統の範囲、液体、気体、固体状の放射性廃棄物を貯蔵、処理廃棄する場所等が管理区域に該当する。

異常発生場所が管理区域の内か外かによって、異常の程度を判断する目安となる。

伊方発電所情報 (お知らせ)

発信年月日	平成 28年 2月11日 (木) 16時 18分
発信者	伊方発電所 山下
当該機	号機 (定格出力)
	発生時 状況
発生状況 概要	1号機(566MW)・2号機(566MW)・ 3号機(890MW)
	1. 出力—MWにて(通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中) 2. 第13回 定期検査中 設備トラブル・ 人身事故 ・地震・その他 1. 発生日時: 2月11日 15時45分 2. 場 所:3号機 取水口クレーン付近..... 3. 状 況: 伊方発電所3号機取水口クレーン付近において、クレーン撤去の作業中、作業員1名が左足を負傷したことから、15時45分に関係会社の社有車にて病院に搬送することとし、16時00分に出発しました。 なお、作業員の汚染、被ばくはありません。
運転状況	1号機: 通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中 2号機: 通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中 3号機: 通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中
備考	

伊方発電所情報 (お知らせ、第2報)

発信年月日	平成 28年 2月12日 (金) 11時 40分
発信者	伊方発電所 佐藤
当該機	号機 (定格出力)
	発生時 状況
発生状況 概要	1号機(566MW)・2号機(566MW)・ 3号機(890MW)
	1. 出力—MWにて(通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中) 2. 第13回 定期検査中
発生状況 概要	設備トラブル・ 人身事故 ・地震・その他
	1. 発生日時： 2月11日 15時45分 2. 場 所：3号機 取水ロクレーン付近..... 3. 状 況： 伊方発電所3号機取水ロクレーン付近において、クレーン撤去の作業中、作業員1名が左足を負傷したことから、15時45分に関係会社の社有車にて病院に搬送することとし、16時00分に出発しました。 なお、作業員の汚染、被ばくはありません。 <div style="text-align: right;">【第1報にてお知らせ済み】</div> 負傷した状況は、作業員が撤去するクレーンに転倒防止用のワイヤーを張る作業を実施していたところ、コンクリートブロック上面に仮置きした固定用のフックが滑り落ちて左足に接触して負傷したものです。 その後、病院で診察した結果、「左下腿打撲」と診断されました。 なお、当該作業員は、本日出社しました。
運転状況	1号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中 2号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中 3号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中
備 考	

負傷時の状況



3号機取水ピットクレーン撤去作業において、クレーンに転倒防止用のワイヤーを張る作業を実施していた。
チェーンブロックをワイヤーに掛けようとして、フックが滑り落ちて左足にぶつかった。